

ものづくりやニュースポーツに挑戦

こどもゆめまつりで思い出づくり

町社会福祉協議会と町ボランティア・市民活動センターは8月22日、福祉センターで小学生を対象とした「第7回こどもゆめまつり」を開催しました。

これは、多世代間交流を目的に毎年開催しているもので、町内の小学生218人が参加しました。オープニングには、大道芸人の「ももちゃん＆ななちゃんとお父さん」が登場し、ジャグリングやバランス芸などの技を披露すると、会場からは大きな拍手が湧き起こっていました。

そのほか、ものづくりコーナー、お化け屋敷、ニュースポーツコーナー、たべものコーナーなどもあり、子どもたちは館内を元気よくまわり、楽しんでいました。

Town topics

8/22



01. 中学生のお姉さんに教わりながらメッセージカードを作製。
02. 息の合った大道芸を披露。



一生懸命稲を刈り取る参加者

協定から3回目の共同作業

神内生き生き協議会と紀南電工が稲刈り

神内生き生き協議会と紀南電工株式会社は8月25日、地域貢献活動の一環として、稲刈りを行いました。

両団体は平成29年4月に「農山村活性化の取組に関する協定」を締結し、田植えや稲刈りなどの活動を通じて交流を図っています。

今回の活動には、紀南電工株式会社の社員や家族ら94人が参加し、神内生き生き協議会のメンバーに教わりながら、黄金色に実った稲穂を一束一束手作業で刈り取っていました。

Town topics

8/25

救急の日イベントを開催

情報共有の重要性を伝える

紀南地域救急医療対策協議会は9月2日、まなびの郷で救急の日イベント「君たちに何ができるか！」を開催しました。

第1部では、岩下義明医師、森本真之助医師、北仲徹救急救命士、戸階良通信指令員による講話が行われました。熊野市消防本部には昨年2,707件の通報があり、2,115件の救急出動があったこと、また、119番通報を受けた消防署の対応、病院側の対応、ドクターヘリなどについて説明が行われました。戸階通信指令員は、「必ず救命に繋がりますので、私たち通信指令員の声にぜひ耳を傾けて欲しい」と話していました。

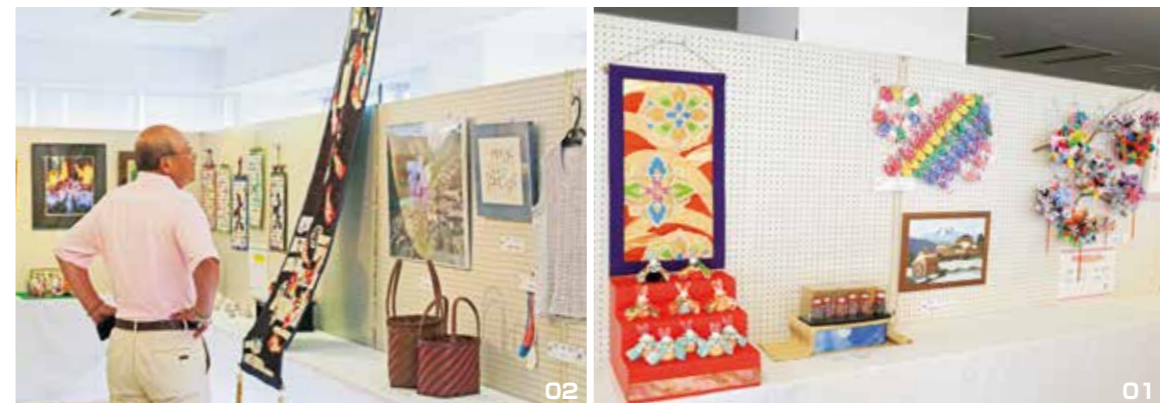
また、第2部では元SKE48で岩手県山田町ふるさと大使の松村香織さんが、東日本大震災の復興支援に携わった経験を話していました。



01. 被災地での活動を語る松村さん。02. 医師と消防署員による講演の様子。

Town topics

9/2



町老人クラブ連合会・趣味の作品展

手芸など85点の力作が並ぶ

町老人クラブ連合会は8月29日と30日の2日間、まなびの郷で「趣味の作品展」を開催しました。

これは、会員の趣味活動の成果を披露する場として、また、会員同士の文化活動の活性化とふれあいや交流を推進するため毎年開催しているものです。

今年は、会員44人が手芸や写真、絵画などの作品計85点を出品しました。この作品展では投票により上位15点を県老人クラブ連合会が主催する作品展に出品します。来場者たちは一点一点作品を鑑賞しながら、お気に入りの作品を選び、一票を投じていました。

Town topics

8/29・30

親子でふれあいのひとときを楽しむ

うきうきコンサートを開催

町子育て支援センターと町ママサークルさくらんぼは、8月22日、まなびの郷で「うきうきコンサート」を開催しました。

普段息抜きの時間が取れない保護者に、子どもたちと一緒に楽しいひとときを過ごしてもらうことを目的に行っており、今回で4回目となります。

熊野市でピアノ教室を営み、音楽活動を行う雑賀晶子さん、仲浩美さんが、歌やダンス、絵本の朗読などを行ったほか、8月に誕生日を迎える子どもたちのお祝い会、子育て支援センター職員によるダンスなど、盛りだくさんの内容でした。参加者たちは、曲にあわせて元気に歌ったり、踊ったりして、親子のふれあいを楽しんでいました。



Town topics

8/22

01・02. 参加者たちは曲にあわせて元気に踊っていました。03. 雑賀晶子さん(歌)、仲浩美さん(エレクトーン)によるライブ。04. お誕生会。

